

■研究推進委員会 2023 年度 活動報告書

提出日：2024 年 3 月 25 日

名 称	街路樹研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：川口将武（大阪産業大学） 連絡先 e-mail アドレス：masa@edd.osaka-sandai.ac.jp
幹 事	氏名（所属）：福井 亘（京都府立大学大学院） 連絡先 e-mail アドレス：wfukui@kpu.ac.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 加我宏之（大阪公立大学大学院） 小宅由似（香川大学大学院） 赤澤宏樹（兵庫県立大学／兵庫県立人と自然の博物館） 平林 聡（The Davey Tree Expert Company／米国農務省 Forest Service） 當内 匡（(株)庭樹園） 宮本脩詩（(株)パスコ） 高林 裕（京都府立大学） 山田 匡（E-DESIGN） 守 宏美（兵庫県） 井上雅裕（京都市役所） 安田卓宏（(株)日比谷アメニス／吹田市花とみどりの情報センター） 野上一志（(株)野上緑化） 石井匡志（(株)アゴラ造園） 石出慎一郎（東洋緑化株式会社） 清水謙治（(一社)日本造園建設業協会）
今年度 活動報告 成果	<p>本年度の活動は、以下の 2 つの項目を中心に実施をした。</p> <p>① 全国大会ミニフォーラムの実施</p> <p>② 構成員による議論と次年度に向けた打ち合わせ</p> <p>① 全国大会ミニフォーラムの実施</p> <p>令和 5 年全国大会（宮崎県・南九州大学）において、ミニフォーラムを実施した。ミニフォーラムでのテーマは、街路樹研究推進委員会のこれからのを考えるである。研究推進委員会活動の前に 5 回、2018 年から継続して全国大会にてミニフォーラムを実施、継続してきた中で、これまで多くの研究者による問題点提起や地方自治体職員からの現状報告を進めてきた。この蓄積された成果を振り返りつつ、地域の先進的な取り組み事例を含めて、これからの街路樹研究推進委員会としての活動の方向性を探るための意見交換をこのミニフォーラムで行った。今回は、街路樹のこれからの在り方、価値、問題についての再認識をするとともに、これからの推進委員会で進めるべき方向性も見出せることができた。このミニフォーラムの詳細な内容については、「グリーンインフラとしての街路樹・街路空間のあり方 —街路樹研究推進委員会のこれからの考える—」として学会誌（ランドスケープ研究 87 (3) 245 頁）に掲載した。</p> <p>② 構成員による議論と次年度に向けた打ち合わせ</p> <p>本委員会の初年度ということもあり、研究推進委員会の中で、全体では 2 回、内部打ち合わせも含めて計 5 回のオンラインによる意見交換などを実施してきた。オンラインではあるが、ホワイトボード機能などを活用し、各委員</p>

の意見を網羅的に取り上げ、ワークショップ的な形式により、街路樹に関する問題点をそれぞれの産官学の立場から提示するとともに、今後の意見交換や次年度実施するミニフォーラムの方向性などを提示し、取りまとめを行った。この中では、大きく 4 つの項目として、「専門家向け」、「専門外行政向け」、「街路樹教育」、「視点・観点」に分けることができた。今後、この項目内容を中心に、ミニフォーラムや執筆などを進めていくことが検討された。

併せて、次年度でのミニフォーラムの実施に向けて検討を進め、開催をすることも決定した。テーマは、「街路樹整備・管理の適正化の課題と今後」で、令和 6 年度全国大会（愛知県・名城大学）で実施する予定で、準備をしているところである。また、「工事における既存樹木の保全のあり方」のミニフォーラムについて本推進委員会委員も参加し、相互に連動して研究を進める予定である。

以上